

# 乳がんの薬物療法



## プログラム

13:00 開場

13:30 開会挨拶 片岡 健氏  
(広島大学大学院保健学研究科 教授)

13:40 I部  
「乳がん治療について整理しましょう」  
講師：桧垣 健二氏  
(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科 主任部長)

14:05 II部  
「ホルモン療法についてお答えします」  
～質問にお答えします～  
講師：片岡 健氏  
(広島大学大学院保健学研究科 教授)  
久松 和史氏  
(広島市立安佐市民病院 外科部長)  
大谷 彰一郎氏  
(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科)  
～まとめ～  
久松 和史氏  
(広島市立安佐市民病院 外科部長)

15:00 「ピンクリボン活動について」  
ゲスト：井上 さちこ氏  
(女性と健康を考える会 代表)

15:05 休憩

15:20 III部  
「化学療法についてお答えします」  
～質問にお答えします～  
講師：金 隆史氏  
(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科)  
香川 直樹氏  
(県立広島病院 一般外科)  
高橋 護氏  
(広島大学病院 第二外科)  
～まとめ～  
金 隆史氏  
(広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科)

16:15 IV部  
「より良い治療を受けるコツをお教えます」  
講師：村上 茂氏  
(広島大学病院 原医研外科)

16:30 終了

司会：中川 圭  
(乳癌患者友の会 きらら 代表)

乳癌患者友の会 きらら  
(世話人代表 中川 圭)

当会は、乳がん患者とその家族のための会です。前向きに乳がんと闘う事を目標においた、会員相互のボランティアで運営される自助グループとして、設立されました。

女性と健康を考える会  
(代表 井上 さちこ)

私たちは、全ての女性が生涯にわたって、身体的・精神的・社会的に健やかである事を願います。当会は、「女性の健康づくりを応援すること」を目的に、会員相互のボランティアで運営される自助グループです。地域に根ざした女性の健康づくりが実現されるよう、質の高い正確な医療情報の収集と提供に努力していきます。

◆お問い合わせ◆ 乳癌患者友の会 きらら事務局  
〒730-0011 広島市中区基町6-78リーガロイヤルホテル広島13階 T&T WAMサポート(株)内  
Tel: 090-1686-7615 Fax: 082-511-1136 E-mail: kirara@g-town.co.jp  
URL: <http://www.g-town.co.jp/kirara/>

上記の団体はいずれも非営利団体です。当会での、営利目的の活動及び、政治活動、宗教活動は一切禁じます。

胸にしこりをみつけた瞬間、「乳がん」と告知されたその瞬間から、  
私たち「きらら」はあなたを支えます。

## 出演者のご紹介

## きららの活動

### I 部



広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科 主任部長  
**伊藤 健二氏**

乳がんには三つのステージがあります。一つ目は乳がんはまだ診断されていない状態、二つ目は乳がんが診断されて闘う時期、三つ目は乳がんが再発して乳がんと共存しながら治療をしている時期です。あなたがどのステージにいるとしてもこの会が役立つものになれば幸いです。

### 2006年10月1日のピンクリボンフォーラムより



私たち乳癌患者友の会「きらら」は、乳がん患者とその家族のみなさまのサポート中心の会です。乳がんに関する最新情報の提供や勉強会も、講師の先生方や協賛各社のご協力により開催させていただいております。本ピンクリボンフォーラムも、第1回目を、2005年10月に開催し、今回で4回目を迎えました。本年度はこの秋にも開催を予定しております。また、「乳がん検診の大切さ」を知っていただくプレステケア・ピンクリボンキャンペーンにも実行委員会組織の一員として、積極的に活動しています。

### II 部



広島大学大学院保健学研究科教授  
**片岡 健氏**

本日参加された皆様、乳がん薬物治療の現状と各種治療内容や治療目的について十分に理解され、同時にそれぞれの治療法にはメリット・デメリットがあることを勉強されますよう、できるだけ丁寧にお答えしたいと存じます。



広島市立安佐市民病院 外科部長  
**久松 和史氏**

乳がんは、女性ホルモンの影響を受ける病気です。乳がんの治療は女性ホルモンを少なくする治療やホルモンの影響を少なくする治療が中心となります。最近の治療についてわかりやすく解説しますので、一緒に勉強しましょう。



広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科  
**大谷 彰一郎氏**

不安を軽減するためには正しい知識が必要です。乳がんの方も、また乳がんかも？と心配されている方も、奮ってこのフォーラムにご参加いただき、正しい乳がんの知識を得て毎日を楽しく過ごしましょう。当フォーラムがその一助になればと願っています。

### III 部



広島市立広島市民病院 乳腺・内分泌外科  
**金 隆史氏**

乳がんは乳管内から発生・進展する局所の病気ですが、早期からリンパ・血行性に転移する全身病的特性を有しています。最も適切な化学療法は、個々の乳がんの再発リスクを適正に判断して、治療を行うことが重要といえます。



県立広島病院 一般外科  
**香川 直樹氏**

がんは、早期発見することがなによりですが、早期発見できず再発予防や再発に対する治療をおこなっている方々、乳がんに対する薬はどんどん新しいものが開発されています。一緒に薬物療法について勉強しましょう。



広島大学病院 第二外科  
**高橋 護氏**

乳がんの治療薬には抗がん剤、ホルモン剤、分子標的薬など多くの種類があり、皆さんは色々な疑問や心配をお持ちでしょう。この会で、その疑問や心配の解決のお手伝いが少しでも出来ればと思います。

### IV 部



広島大学病院 原医研外科  
**村上 茂氏**

乳がんの診断、治療は日々進歩しています。患者さんと医療者との関係も少しずつ変わってきました。患者さんはより良い医療を受けるために、私たち医療者はより良い医療を提供するために何が必要なのでしょう。皆様と一緒に考えてみたいと思います。

### ゲスト



女性と健康を考える会代表  
**井上 さちこ氏**

広島県ではさまざまな団体が、乳がんの早期発見・早期治療を啓発する事業を行うようになりました。乳がん患者やその家族や友人が、さまざまな情報を取り寄せる選択肢が広がりを喜ぶことを嬉しく思っています。

### 司会・進行



乳癌患者友の会きらら代表  
**中川 圭**

治療は日進月歩。今日使えなかった薬が明日は使えるようになっているかもしれない。今日できなかった治療が、明日はできるようになっているかもしれない。今日より明日はずっと、きっと良い日と信じて、前向きに歩いてゆきましょう。